

COMMUNICATION能力の向上をめざした授業

屋島 哲也*

A Lesson Report Aimed to Improve Students' Communication Skills in English

Tetsuya OKUSHIMA*

1. はじめに

本学は生活環境学科と幼児教育保育学科からなる短期大学である。英語授業は、I 回生に開講されている。2学科のなかで、生活環境学科生は選択科目であり、幼児教育保育学科では保育士資格、幼稚園教諭2種免許状取得希望者は必修科目である。

短期大学生は、2年後には社会人として活躍するため、専門的な知識とその知識を活かすための運用能力を身につけることが必要とされている。家族や友人との談話だけではなく、全く初対面の人たちとの商談や連絡・依頼をスムーズにするためには、コミュニケーション能力は不可欠なものとなる。

すでに中学校・高等学校において、外国語指導では、的確なインプットと適切なアウトプット能力の養成が主眼におかれ、コミュニケーション能力の向上をめざした授業が実施されている。

外国語の授業展開では、積極的に効果的に相手との意思疎通を図れる技術や態度を養成することを主眼として、2016年度は、英語での「プレゼンテーション能力の向上」を目指し、2017年度は「コミュニケーション能力の向上」を目指すものとする。

この報告は、2017年度に実施した英語 I A (前期)、英語 I B (後期) の授業の概要である。英語のみならず日本語においても学生のコミュニケーション能力が向上するようにとの願いをこめた授業の実践例である。

文部科学省高等学校学習指導要領外国語編 (2009年3月告示) には、コミュニケーション能力を次のように説明している。

「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育

成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。外国語科の目標は、コミュニケーション能力を養うことであり、次の三つの柱から成り立っている。

- ①外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めること。
- ②外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。
- ③外国語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うこと。」¹⁾

2. COMMUNICATION能力の向上

コミュニケーション能力は、日本語や英語を用いた発表、対話、グループ討議などの様々な言語活動を通して身につけられる。履修する学生の英語能力はばらつきがあり、必修科目なので仕方なくといった消極的なものから、将来のためにしっかりと学びたいといった積極的なものまで、履修する動機の違いは様々である。

この状況のもと、初め消極的な動機であった学生が興味を持ちはじめ、積極的に学習する例が見受けられる。自分のレベルに応じて、学生個々に英語表現ができることにより、成就感や達成感を得られ、学生個々のスキルのさらなる向上へとつながっているようである。学生がこのスキルを体系的に身につけることができ、学生個々の英語能力にも対応できるように授業内容を工夫し、1年間を前期と後期の2学期に分け、各15回の講義とする。

3. 授 業

3. 1 到達目標

1年間の授業を通して、楽しい言葉、使ってみよう

*特任准教授
報告 (資料・報告) : 2019年1月9日受付 2019年1月21日受理

業、もっと深く学びたい言葉として英語が定着することをねらいとする。以下の3点を、英語到達目標として設定する。

- (1) コミュニケーション能力を身につける。
(相手の立場を理解し、自分の立場を説明する)
- (2) 自分の持っている意見や情報を効果的に伝達できる。
(日本語、英語)
- (3) 主体的な学びにつながるコミュニケーションへの関心・意欲・態度を身につける。

3. 2 コミュニケーション能力の習得を目指す授業

導入として、表現しやすい身近な話題「自己紹介」をとりあげ、基本的な表現方法を学習する。最終的には、形式的・公的な場におけるディスカッションやディベートの際において、日本語はもちろん英語においても、自分の意見を発表し、意見交換ができるようなコミュニケーション能力の習得を目指す。

授業では、英語を「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4技能を伸ばすための広く普及している方法を紹介しながら、その中から学生が取り組みやすい習得方法を個々に採り入れるようにする。授業全体を通して、特定のテキストを用いず、学生の理解に応じて、毎時、インターネットから画像や音声、動画等を教材や資料として提示する。

3. 2. 1 英語 I A (2017年度前期：4月－8月)

テ ー マ	内 容
1 Introduction	What is Communication?
2 English Skills 1	Reading / Writing
3 English Skills 2	Listening / Speaking
4 Presentation 1	Self-Introduction
5 Presentation 2	Self-Introduction Demo
6 Presentation 3	Pair / Group Work
7 Presentation 4	Format 1(Visual Aids)
8 Presentation 5	Format 2(英語→日本語)
9 Presentation 6	Format 3(日本語→英語)
10 Communication Exercise 1	Movie
11 Communication Exercise 2	Video
12 Communication Exercise 3	Books / Magazine
13 Communication Exercise 4	Music / Photo
14 Communication Exercise 5	Speech Exercise
15 Communication Exercise 6	Speech Evaluation

3. 2. 2 英語 I B (2017年度後期：9月－1月)

テ ー マ	内 容
1 Introduction	How to summarize sentences.
2 English Skills 1	Reading(1) Pronunciation
3 English Skills 2	Reading(2) Shadowing
4 English Skills 3	Summary(英語→日本語)
5 English Skills 4	Summary(日本語→英語)
6 English Skills 5	Creative Writing(1) message
7 English Skills 6	Creative Writing(2) opinion
8 English Skills 7	Creative Writing(3) commercial
9 Presentation 1	Speech Study
10 Presentation 2	Speech Writing
11 Presentation 3	Speech Practice(1) Demo
12 Presentation 4	Speech Practice(2) DVD 1
13 Presentation 5	Speech Practice(3) DVD 2
14 Communication Exercise 1	Public Speech
15 Communication Exercise 2	Speech Evaluation

3. 3 教 材

コミュニケーション能力の習得を目指す内容の資料や教材を使用。随時、題材に合う内容の補足教材として、インターネットから画像や音声、動画等の映像を扱う。

3. 4 評価方法

単位認定の方法及び基準は、次の(1)・(2)・(3)の合計100点を総合評価し、4段階(4、3、2、1)で表記する。

- (1) 平常点 (30パーセント)
- (2) 課題・レポート (30パーセント)
- (3) 定期試験 (40パーセント)

4. 授業展開

4. 1 自己紹介

自己紹介の導入は学生にとっては、身近な取り組みやすい題材である。学生には、自己紹介文を子ども、大人、友達と、話す対象を変えながら、同じテーマ・内容を繰り返しながら、書き直し、再考する機会を与える。学生は英語を書き直すにつれ、徐々に話し手中心の発想から聞き手に配慮した、わかりやすい内容を考えるようになることをねらいとする。

4. 2 自己紹介演習

次の(1)から(3)の順序で、自己紹介文を作成する。

(1) 日本語で作成

(2) 英語で作成

(3) 話す対象を変える

- ・学生(ペア): 友人同士の会話
- ・学生(グループ): クラスでのスピーチ
- ・幼児・園児: 英語で自己紹介をする

最初に、日本語での自己紹介。自分のことを言うだけなので、学生には、考えることへの抵抗が少ない。これを英語に直す作業では、英語モデルを提示し、変更の必要な箇所のみ変えることにする。話す対象を、学生間での自己紹介から、幼児や園児に対しての自己紹介に移す。しかも「英語」で子ども達に伝える状況を設定する。大半の学生は、人前で「英語」を話す機会がほとんどない。当然聞き手が変われば、話す内容も変えなければならない。聞き手にわかりやすい、聞いてもらえる内容を考えさせる演習とする。

4. 2. 1 自己紹介を聞かせる・聞いてもらう工夫

(1) わかりやすい内容

(2) 興味づけ

(3) 話し手と聞き手の共感

聞き手に興味を持って話を聞いてもらうには、聞き手が普段どのような話題に関心があるのかを、事前に知っておくことが必要である。聞き手とのコミュニケーションを図る第一歩となる。一方的な話ではなく、最近のニュースや好きな食べ物、仕事の状況などを前もって知って、話し手のみの一方向の伝達ではなく、より日常の会話になるように、逆方向になる、聞き手にも話してもらうことで、お互いの会話が円滑に進むものである。

特に子どもとの会話を想定する際には、好きなお菓子、好きな動物、好きな色など子ども達が興味を持っている質問を入れながら、英語の自己紹介をする場面を考える。

授業1 自己紹介: 聞かせる・聞いてもらう工夫

(1) YouTubeの「自己紹介」を視聴²⁾。

(2) 初めて実習に行く幼稚園で、以下の内容の例を参考にして、幼児向けの自己紹介を書きなさい。(園児への質問を加えた対話文)

- ・名前
- ・好きな食べ物(どんなところが好きか)
- ・好きな動物(なぜ好きなのか)

・好きな色(具体例: 青色→晴れた空)

・住所(子供がわかる場所、～の近く)

・園児に対する質問(上記から3つ選ぶ)

・最後までよく聞いていた園児に対する、ほめる言葉・感謝の言葉(よくできました、ありがとう)

・話者の抱負(がんばります、よろしく、元気に遊ぼうね)

授業2 適切な質問内容

次の(1)から(3)の題材について、質問のマナーや注意点を考え、英語で文章を書きなさい。

(1) 初対面の人に対しての適切な質問。

(2) 子どもに対しての適切な質問。

(3) 初対面の女性との会話。(挨拶を含む)

4. 3 話題: 単純な構文から複雑な構文へ

4. 3. 1 様々な話題へ

自己紹介を発展させ、身近な話題、自分の身の回りの様々なことを伝える練習をする。話し手はいろいろ調べたりする必要がなく、今感じていることや思っていることを話すだけである。聞く側も、他人の事柄に関して興味があるところでもあり、他者の関心を引く活動である。

まず、日本語でいろいろ話題をあげ、それを簡潔にまとめ発表内容とする。次に、モデルとなる英文を提示して、その英語を発表内容に合わせて部分的に書き換えて、主旨を伝える。

授業3 様々な質問事項(英語に)

次の日本語を英語にしなさい。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1 性別 | 2 年齢 | 3 血液型 |
| 4 基本的な性格 | 5 好きなこと | 6 嫌いなこと |

4. 3. 2 身近な話題1: 自分に合う英語に書き換え

私の住む町、ペット、友達、性格、アルバイト、好きな物(スポーツ、歌、食べ物、色、動物など)いろいろな英文例を示し、自己紹介文を作成する。

幼児教育・保育学科生は、保護者や幼児・園児に話す機会を考え、子どもから大人まで共通に関心がある話題を考えさせる。いずれの話題でも、それぞれモデルとなる英文を提示して、学生個々に英語を書き換えさせ、英文を完成させる。

授業4 英語の書き換え

次の英語の下線部をあなたに合うように書き換え、英文を完成しなさい。

ふるさと: 1分間スピーチ例

I was born in a small town in Yamate-city. It has a population of about 30,000 people. But every year it's getting less. Young people don't want to live there. And there's not much work. So people move to other places. I like my hometown, though. The scenery is very beautiful. And there are nice places for fishing. Now I'm living in a big city. But I sometimes go back to my hometown. It's nice to be back home. Someday I'd like to move back there.³⁾

4. 3. 3 身近な話題2：単文から重文・複文へ

身近な話題に関して、複雑な構造の英文を用いた表現を練習する。

(1) 通学に関して

地域の様子、通学手段、通学時間を語る。

(2) 私の夢

自分の夢について、過去・現在・未来を通し、なぜその夢を追い求めているのかを語る。

(3) 旅行

旅行について、過去の思い出、これから行きたい場所などを話す。

質問例

- ・ What country (city/town) did you visit?
- ・ When did you visit?
- ・ How long did you stay?
- ・ Who are you going to go with?

いずれの場合も、(3) の例のように、話題に関して、聞き手に対する質問を用意する。その質問に聞き手が答えることで、話者が一方的に話すことから聞き手との双方向のやりとりができる内容を考える。

4. 3. 4 話題の整理、論理的な文章の作成

これまでの段階では、思いついたことをそのまま話したり答えたりする、自由な発想に重点を置いていたが、次の段階として、内容の整理、論理的な文章の作成を意識させるようにする。

授業5 話題の整理：時系列で順序立てた説明

・ 英文を参考にして、起床から登校までの行動を英語で書きなさい。

I wake up at 6 o'clock. I get up at 6:50. I make a cup of tea and iron my clothes. I have a shower and get dressed.

I usually wear jeans, a blouse, a jumper or cardigan and boots in the winter, or a skirt and blouse in the summer. I brush my hair, put on my make-up...⁴⁾

4. 4 話し方の練習

4. 4. 1 スピーチ練習

聞き手にとってわかりやすい発表内容を意識する。話題の提示・まとめ・質問など、それぞれの方法を練習し、それらの英語表現を考える。そのために、複数の要素をつなぎ、順序立てて説明する練習を行う。

与えられた条件をクリアーする内容を選び、その理由を説明する。

授業6 話す内容の理由立て

日本語と英語で書きなさい。

- ・好きなこと3つあげなさい。
- ・嫌いなこと3つあげなさい。
- ・できないこと3つあげなさい。

4. 4. 2 ディスカッション練習

自己の意見を、論理的に説明するための練習。英文の意見に賛成か反対かの態度を表明し、その理由を書く(日本語、英語)。

授業7 ディスカッション練習1

以下の英文の意見について、あなたの考えを書きなさい⁵⁾。

- ・ Math is the most important subject!
- ・ Cats are better pets than dogs!
- ・ Eating fast food is not healthy!
- ・ Soccer is more exciting than baseball!

授業8 ディスカッション練習2

次の質問に英語で答えなさい。(英文を提示)

- ・ 「親は最高の教師である。」この意見にあなたは賛成ですか、反対ですか。
- ・ 人は様々な理由から大学に行く(例えば、新たな経験をするため、職業に就く準備のために、知識を増やすため等である)。あなたはなぜ人々が大学に行くのだと思いますか。あなたの意見を述べなさい⁶⁾。

4. 5 プレゼンテーション

スピーチ練習、ディスカッション練習をとおして、話者の伝えたい内容を効果的に聞き手に理解してもらうために、プレゼンテーション技法を練習させる。

2016年度に使用した教材POWER PRESENTATIONでは、コミュニケーションとプレゼンテーションの関連

について、次のように説明している。

「近年、国際化が進むにつれて、様々な分野でコミュニケーションのための英語の必要性が声高に叫ばれています。文化的背景の異なる人々が、交流し合う機会が増えるのに伴って、相手の立場を理解し、自分の立場を説明するというコミュニケーション能力が要求されているのです。(略) 英語によるオーラルコミュニケーションの第一歩は、自分の持っている意見や情報を効果的に伝達できるということできなければなりません。そして、そのような能力を身につけるには、プレゼンテーション(口頭発表)ほど有効な手法は他にありません。」⁷⁾

4. 5. 1 プレゼンテーションの構造理解

プレゼンテーションの構造、種類、フォーマット(形式)を理解する。

- ・導入：挨拶、自己紹介、発表の概要、発表の背景
- ・本題：主題、概要、サポート詳細、理由、例
- ・まとめ：概要、結論、おわりの言葉

これまでの、簡単な自己紹介を日本語で発表し、それを英語で表現する練習を繰り返した。日本語・英語はともに模範となる例文を読ませ、できる限り簡潔にわかりやすく例文を加筆・修正し、各自の表現したい内容になるようにまとめさせる。

4. 5. 2 プレゼンテーションの表現

何をどう伝えるかという発表の明確な主旨のもと、いかにメッセージが効果的に伝達できるかを学ぶ。

英語の表現には、簡潔な表現(冗長にならない、日本語をそのまま英語にしない)を用いて、できる限り自分の言葉で書くようにする。

授業9 プレゼンテーション：自己紹介

指示：次の題について、日本語・英語でプレゼンテーション資料を作成しなさい。

題：「私が幼児教育・保育を学んでいるのは・・・」

4. 6 参考文献・引用文の要約演習

ここでは、中心テーマにしたがい、参考文献等の文章を引用・要約し、発表する練習で、3つのそれぞれ違うタイプに取り組みさせる。

- ・日本語の必要事項を抜粋し要約する。
- ・例文を参考にして、わかりやすく英語で要約する。
- ・エッセイを書く。

授業10 日本語の話を英訳

次の日本語を英語で簡潔に述べなさい。

- 要約(あらすじ)文にイラストを描く
- ・ Little Red Riding Hood あかずきん⁸⁾
- ・ Momotaro 桃太郎⁹⁾

4. 6. 1 テキストの要約

授業11 MY ENGLISH PAGES, READING:

説明文¹⁰⁾

英文を要約し、設問に答えなさい。

授業12 MY ENGLISH PAGES, READING:

内容理解

英文を読み、内容に関する設問に答えなさい。

- ・ John F. Kennedyに関する英文
- ・ Christmasに関する英文
- ・ Santa Clauseに関する英文

4. 6. 2 ストーリーテリング

英語の参考文献を読み、その要旨を英語で発表する。

- ・ CHRISTMAS ESSAYを読む¹¹⁾。
- ・ LAST CHRISTMASを鑑賞し、歌う¹²⁾。

授業13 エッセイ

My Last Christmas

あなたの、クリスマスについて、日本語の要旨と英語を書きなさい。

4. 6. 3 DVD鑑賞

映画を鑑賞し、その内容について発表させる。

授業14 映画鑑賞

MIRACLE ON 34TH STREET¹³⁾

「サンタを信じますか?」という永遠のテーマを考えさせる。視聴後、映画のクライマックス、看板に書かれた言葉、「私たちは信じる(We Believe)」の意味と裁判官の判決内容を確認する。

確認過程

- ・ Marking:Key Words, Sentences
- ・ 箇条書き、並べ替え
- ・ Summarize 資料整理・記述の抜粋・要約

4. 6. 4 プレゼンテーションメディア

メディア(文字、絵、写真、図表、VIDEO、ニュース、映画、歌、DVD)を用いて、プレゼンテーションをより説得力のあるものにするための工夫を考える。

4. 6. 4. 1 英語と音声を使ったプレゼンテーション

例の紹介と練習。

授業15 映像を使ったStory Telling

- (1) THE VERY HUNGRY CATERPILLAR¹⁴⁾
- (2) SNOW WHITE 白雪姫¹⁵⁾

4. 6. 4. 2 音声と動画を使ったプレゼンテーション

同時通訳につながる練習を体験させる。

- ・ 音声を聞きながら同時に英語を読む。
- ・ 音声出力なしで映像を見ながら、英語を読む。
- ・ 英語字幕を読む。
- ・ 英語音声を聞いて、日本語を読む。

授業16 同時練習 Simultaneous Training

- (1) 音声 (英語) を聞きながら、日本語を読む。
「バージニアの手紙」¹⁶⁾
- (2) 映像を見ながら、日本語・英語を読む。
THE TOWN MUSICIANS OF BREMEN¹⁷⁾

4. 7 英語力向上のための補助教材

- (1) 英語の語彙、英語に関する知識を増やす。
各種の英語検定試験の問題に習熟する。
 - ・ 保育英語の練習¹⁸⁾
 - ・ 英語の発音練習：母音、子音
 - ・ アメリカの祝祭日
 - ・ 単位の表現
長さ、温度、容積、数字の単位、SI国際単位
- (2) 各種英語検定試験を紹介し、学生が比較的取り組みやすい問題を扱う。

TOEIC Practice - Part 1: Photographs¹⁹⁾

1枚の写真で4つの解説のうち正しいものを1つ選ぶ。
リスニング教材。

British Council: Describe a photo or picture²⁰⁾

1枚の写真を英語で説明。

授業17 総合練習

それぞれの会話文を読み、設問に答える。

British Council: Learn English Teens Skills²¹⁾

- ①図書館で At the library
- ②カフェで注文 Ordering food in a café
- ③店で At the shop

5. 評価

5. 1 2017年度年間目標・計画

目標 学生の英語コミュニケーション能力の向上

- (1) Reading, Writing面での能力を向上させる指導法の研究。

- (2) Listening, Speaking活動を通して、積極的に英語を使えるようにするための教材研究。
- (3) 実社会で役立つ、実践的な授業内容を考察する。
- (4) 英語学習を通して社会生活に必要な知識や教養、マナー等を身につけさせる。
- (5) 英語の各種検定に学生の参加を促す。
- (6) 英語の4技能を向上させるための、効果的な教授法を工夫する。
- (7) 視聴覚機器を用いた英語学習での効果を検証する。
- (8) Internetを利用した、英語の効果的な学習法を研究する。

5. 2 自己評価

5. 2. 1 前期授業

英語 I Aは、後期の英語 I Bと関連して、1年間で学生の英語レベルを向上させるための学習内容を配置している。高校の授業では学習していない事柄を、次々と紹介していくので、学生は、理解不足から混乱しているようだ。しかし、アンケート後の前期試験では、教授内容を網羅する試験を課したが、ほとんどの学生が、十分評価できる解答に仕上がっている。

・以降の取り組み

昨年も、同様な評価であり、前期の調査では、平均が低く、後期の調査では、学生の評価の観点に変化が見られ、平均が上昇していた。後期は、前期をふまえた英語のコミュニケーション力の向上のために、昨年以上に、学生が自信を持てるような内容を教え込んでいくことにする。語学学習の楽しさを十分味わえるような取り組みにしたい。

5. 2. 2 後期授業

本年度は、英語能力の高い学生が数名在籍しているので、達成目標を「良くできる」、「できる」、「努力が必要」の3段階のレベルを考慮した授業を実施。

「良くできる」レベルは、評価基準を英語検定の準1級程度に置いて、自由に英語が使えるように、課題はできるだけ英語で書かせ、英語での質問を多くする。「できる」レベルは、評価基準を英語検定2級程度に置いて、「読み・書き・聞き・話す」技能の「読み・聞き」の技能の向上を目指す。

「努力が必要」レベルは、評価基準を英語検定3級程度に置いて、「英語をまねて書く」、「英語をまねて話す」ことができるように教材を工夫する。

どのレベルにおいても、今年度の授業は学生にとっ

ては難しいようであったが、チャレンジすることができる授業でもあった。

・以降の取り組み

英語を使ったコミュニケーション能力の向上のために、学生にとって、興味ある題材を用いた面白い授業を実践していくために、資料の収集・整理に努める。

5. 3 学生による授業アンケート

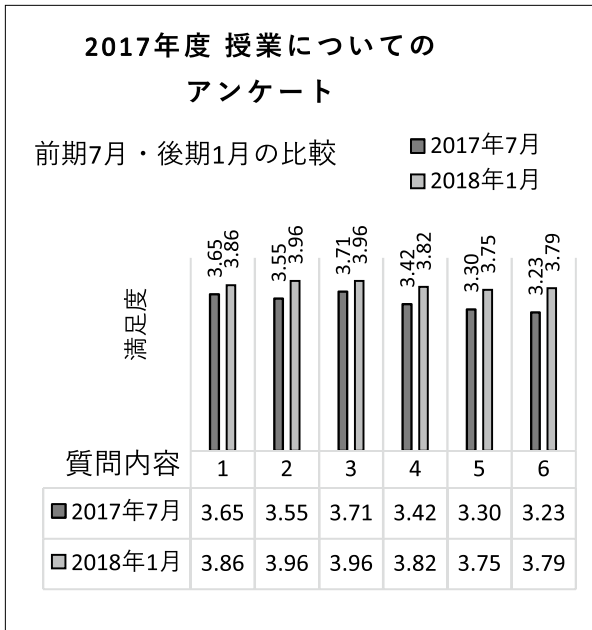
5. 3. 1 質問内容

- 1 内容が理解できるように授業が工夫されていた。(テキスト、プリント、板書、視覚教材、実演など)。
- 2 教員は、学生の質問や発言に適切に対応していた。
- 3 教員は、学生の不適切な受講態度を注意し、勉強しやすい環境を作っていた。
- 4 授業内容は理解しやすかった。
- 5 わたしは総合的にみてこの授業に満足できた。
- 6 講義概要に書かれた到達目標を達成できた。

回答5点法

- 5 そう思う 4 ややそう思う
 3 どちらともいえない 2 あまりそう思わない
 1 そう思わない

5. 3. 2 アンケート前期・後期結果



5. 3. 3 アンケート前期・後期記述回答 (抜粋)

(1) この授業を履修して良かったと思うことを書いてください。

- ・プリントがわかりやすかった。
- ・自分で話しの構成をすることがまったくなかったので必要な部分だけを抜き取る力が身につきました。
- ・英語はにがて意識がずっとあったけど少し好きになって来た。
- ・文章力がついたこと、(DVDを通して)人の気持ちを考え、文にすることができたこと。
- ・今年も一年がんばります。楽しかった。
- ・日常的に使われることを用いてくれたので、生活場面に役立てられるようにしたいです。
- ・他の国の文化を学べた。
- ・単語を覚えられたこと。

(2) この授業を良くするための希望や意見、改善点を具体的に書いてください。

- ・なんとも分かりにくい。
- ・もう少し英会話を楽しめる内容にしてほしい。
- ・プリントの字が小さくて見えにくい。
- ・意味のある授業内容にしてほしいです。
- ・英会話の機会を作ってほしかった。
- ・内容をもっと濃くしてほしい。

6. 結 び

この授業展開は、1年間、前期・後期それぞれ15コマの時間配当の中で、すべてを実践できたわけではなく計画倒れで、最後までやれなかったものも掲載している。これはすべて、指導者の準備不足によって生じたものである。今後は、資料や教材の準備を入念におこない、様々な語学習得へのアプローチを紹介していきたい。

毎回、授業を楽しみにしてやってくる学生達が、充実感や達成感を味わえるように今後いっそうの研究を進めたいと考える。

掲載した授業は、前期15回、後期15回のうちの抜粋である。半年ごとのアンケートの文章記述を紹介して、その中では、英会話の授業や実践的な英会話授業を希望する学生が少なからずいる。このことは、英語でのコミュニケーション力を身につけることを切に願う学生の声として、謙虚に受け止め、次の授業計画に織り込んでいきたい。

最後まで一生懸命に英語を学習し、コミュニケーション能力を向上させようと努力した多くの学生に賛辞を贈る。

引用文献

- 1) 『文部科学省高等学校学習指導要領解説
外国語編 英語編』 平成21年12月
第2節 外国語科の目標
- 2) 自己紹介の練習
<https://youtu.be/LMOdjqJU8M>
(2019/1/6確認)
保育、新潟、保育士、幼稚園 STEP研修発表⑥
<https://youtu.be/CY8GqD4br60> (2019/1/6確認)
- 3) 中高年からはじめる英会話スピーキングへの道
1分間スピーチ「ふるさと」
<https://english.suntomi.com/index.php>
(2019/1/6確認)
- 4) USEFUL ENGLISH PHRASES TO DESCRIBE
YOUR DAILY ROUTINE
<https://englishlive.ef.com/blog/english-in-the-real-world/useful-english-phrases-describe-daily-routine/> (2019/01/6確認)
- 5) Lubetsky, Michael, Lebeau, Charles, Harrington, David, *DISCOVER DEBATE*,
Basic Skills for Supporting and Refuting
Opinions, 1999/12/6, Language Solutions, p. 6
- 6) Essays for TOEFL topic 2, 1
<http://toeflsessays.blogspot.com/2013/02/topic-2-parents-are-best-teachers.html>
(2019/01/6確認)
<http://toeflsessays.blogspot.com/2013/02/topic-1-why-do-you-think-people-attend.html>
(2019/01/6確認)
- 7) JACET関西支部教材開発研究会 2015
POWER PRESENTATION 三修社 3.
- 8) 英語版 世界名作童話 ピンクフォン英語童話
https://youtu.be/snyLY_dHYrU
(2019/01/6確認)
- 9) えほんであそぼ! じゃじゃじゃじゃん
子供向け童話シリーズ「ももたろう」
<https://www.youtube.com/watch?v=rjOVRxejCB8&feature=youtu.be> (2019/01/6確認)
- 10) MY ENGLISH PAGES
Learn English Grammar Online, READING,
Reading Comprehension
https://www.myenglishpages.com/site_php_files/reading_halloween.php (2019/1/6確認)
- 11) CHRISTMAS ESSAY
Gifts of Christmas: Essays from Wilson School
District students
<https://www.readingeagle.com/news/article/gifts-of-christmas-essays-from-wilson-school-district-students> (2019/1/6確認)
- 12) Wham, LAST CHRISTMAS, Official Music
Video, <https://youtu.be/E8gmARGvPII>
(2019/1/6確認)
- 13) MIRACLE ON 34TH STREET 「34丁目の奇蹟」
ヒューズエンタテイメント, 20世紀フォックス,
1994年12月10日日本公開
- 14) THE VERY HUNGRY CATERPILLAR
<https://youtube.com/zmelP4nLEV4>
(2019/1/6確認)
- 15) SNOW WHITE、ピンクフォン英語童話
<https://youtube.com/CxTrsMjlcSQ> (2019/1/6確認)
- 16) 近江 誠 『子どもの疑問に答える「バージニアの手紙」, 感動する英語!』 文藝春秋 (2003/12/4)
pp.124-130.
- 17) The Town Musicians of Bremen-Kids songs and
stories in English
<https://youtu.be/jjoFjosIwOo> (2019/1/6確認)
- 18) 高橋 妙子 2014 『保育英語の練習帳』単語&フ
レーズを覚えよう! 萌文書林.
- 19) English Exams, TOEIC Listening part 1:
Photographs.
https://www.examenglish.com/TOEIC/TOEIC_listening_part1.htm# (2019/1/6確認)
- 20) British Council, Learn English Teens,
Photo captions, Write captions for the funny
photos.
<http://learnenglishteens.britishcouncil.org/study-break/photo-captions> (2019/1/6確認)
- 21) British Council, Learn English Teens, Skills
Beginner A1 speaking.
<https://learnenglishteens.britishcouncil.org/skills/listening-skills-practice/library-giving-personal-information> (2019/1/6確認)